



三光幼稚園だより

11月号

<http://sanko-kg.minato-kyo.ed.jp>

ブログ: <http://sanko-kg.minato-kyo.ed.jp/blog>

X: <https://mobile.twitter.com/sankokg>



令和8年10月29日
港区立三光幼稚園
園長 藤井 未知江

運動会から

園長 藤井 未知江

10月17日に開催した運動会には、たくさんの保護者、地域、御来賓の皆様にお越しいただき、温かい御声援を賜りました。普段、園で楽しんでいる遊びや活動などを盛り込んだダンスやかけっこ、親子競技を楽しむ姿をご覧いただきました。

年少組は少し緊張していた姿が見られましたが、おうちの方が見に来てくださったことを喜び、先生や友達と体を動かすことを楽しんでいました。年中組は自分がイメージする怪獣になりきって競技や演技に取り組んでおり、年長組はグループの友達と考えた踊りの表現、リレーでの力走や、友達と2回戦の走順を相談する姿を保護者や地域の皆様にご覧いただきました。友達と力を合わせて取り組み、互いに応援し合い、力いっぱい自分の力を出し切った表情からは、一つの行事を乗り越えた大きな喜びと自信が育まれていることを感じました。

運動的行事ではありますが、幼稚園がめざしているのは単なる運動能力の伸長や体力向上ではありません。学年や発達に応じて、子どもたちが十分に体を動かす楽しさを味わうとともに、友達と協力し目的に向かって自分たちでやり遂げた達成感や満足感を味わってほしい、と考えています。

園では日常的に、発達に合わせて様々な事柄を子どもたち同士で相談して決めています。運動会中にご覧いただいた、年長組がチームの友達と相談してリレーの走順を決める、というのは、簡単そうで、実は子どもたちにとっては大変難しいことです。自分の意見を友達に伝え、友達の意見にも耳を傾け、意見の相違があれば解決策を考え、より良い考えを一緒に模索する、または折り合いをつけていく。自分たちにとっての最適解を相談しながら考え、導き出すことは、大人でも難しいことかもしれません。

しかし幼少期のこの経験は、子どもたちに「皆で智慧を出し合えば、きつとうまくいく」という心の素地を育み、これからの人生の中の多様な社会の中で、物事を解決しようとする際にきっと役立つはずです。園生活での行事も含めた様々な経験が、子どもたちにとっての糧となり、小学校以降の学びの礎になっていくことを心から願っています。



元気に入場行進をする
年中組・年長組



開会式で、チームで始めの
言葉を言う年長組



年長組は皆で気持ちを
合わせて踊りました。